

令和6年度成田市学力調査の結果について【中学2年生】

【成田市学力調査・実施概要】

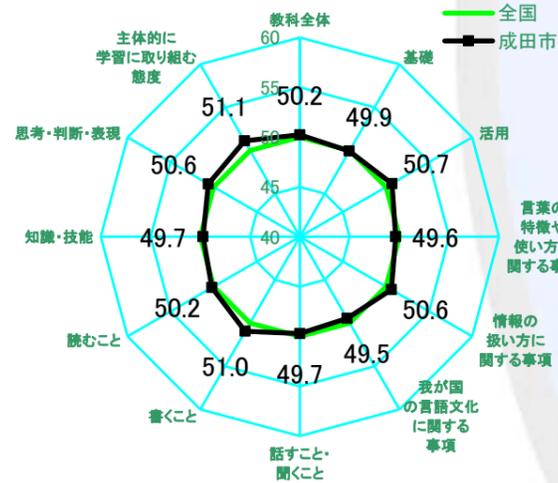
- 実施日 令和6年12月4日・6日
- 実施教科 国語、数学、理科、社会、英語

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることに留意願います。

※本調査における全国(国)とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した児童生徒の平均正答率を示します。

2 教科ごとの状況

(1) 国語 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
5(1)	登場人物の言動の意味について考えて、内容を解釈している。〈文学的な文章の内容を読み取る〉	70.1	68.5
7②	2段落構成で文章を書いている。	55.5	47.0
④	自分の考えを明確にして書いている。〈文章を書く〉	59.3	51.0

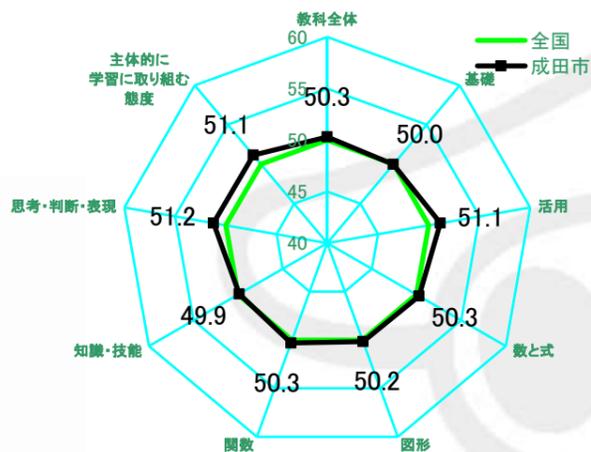
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
1(2)	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。〈話の内容を聞き取る〉	71.7	77.7
2(2)②	小学校で学習した漢字を正しく書いている。〈漢字を書く〉	40.7	47.2

【国語・力を入れた学習】

自分の考えを分かりやすく伝える場面では、目的や相手に応じて、資料やiPadなどの機器を用いることが効果的です。漢字の学習では、その漢字を使った熟語を練習すると効果的です。知っている言葉を増やすために、漢字辞典で調べたり、実際に話や文章の中で使ってみたりすると、さらに記憶に残ります。

(2) 数学 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
3(2)	代入法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。〈連立方程式〉	53.6	45.5
15(2)	与えられた事柄から、正しい三角形の合同条件を判断することができる。〈証明〉	80.5	80.8

※15(2)は全国値と比較すると数値は低いですが、目標値が75であるため、成果として掲載

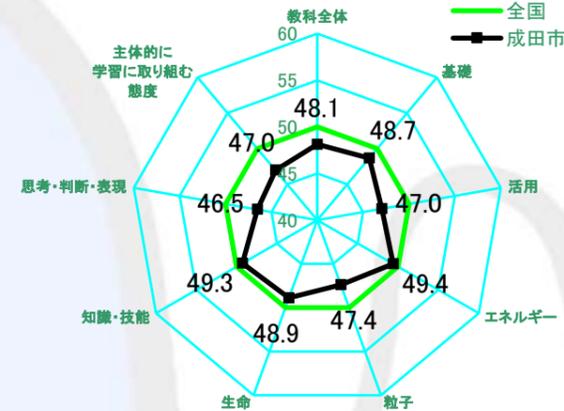
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
2(1)	多項式の同類項をまとめる計算ができる。〈式の計算〉	60.7	67.8
8(3)	2元1次方程式の解を座標とする点の全体を表したグラフを選ぶことができる。〈1次関数〉	33.4	39.0

【数学・力を入れた学習】

「連立方程式」の学習では、解き方の考察や理解とともに、活用する力を高めることも大切です。生活の中では、1つの変数より2つの変数を用いた方が式に表しやすい場面も多いので、関係を表や線分図などで表して立式するという学習を積極的に取り入れましょう。

(3) 理科 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
6(1)	だ液中の消化酵素の名称を理解している。〈植物のからだのつくりとはたらき〉	64.6	60.3
8(2)	維管束について理解している。〈植物のからだのつくりとはたらき〉	66.8	59.9

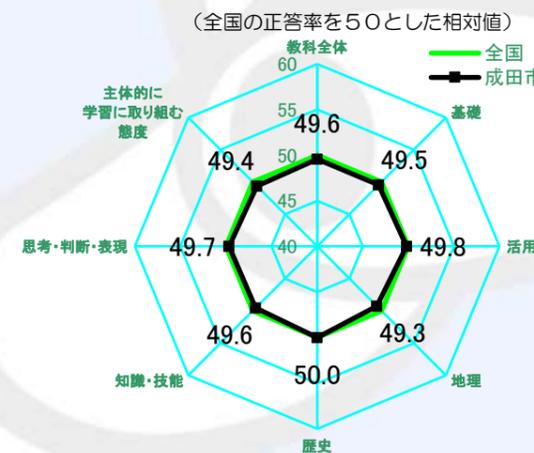
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
4(2)	他者の予想に対して、結果を見通し、質量を推測できる。〈化学変化と物質の質量〉	1.8	21.3
9(3)	つくられるデンプンの量の理論値が誤っている理由を説明できる。〈植物のからだのつくりとはたらき〉	3.1	17.5

【理科・力を入れた学習】

実験や観察における「手順」だけではなく「理由」について科学的な理解を深めましょう。また、理科用語を単独で理解するのではなく、関連する事象と紐づけ、つながりを意識して学習することが大切です。

(4) 社会〔地理〕〔歴史〕



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
4(2)②	伊能忠敬について理解している。〈江戸時代〉	74.0	67.8
5(1)	各地方の産業の特色についての理解をもとに判断している。〈日本の諸地域〉	75.0	75.2

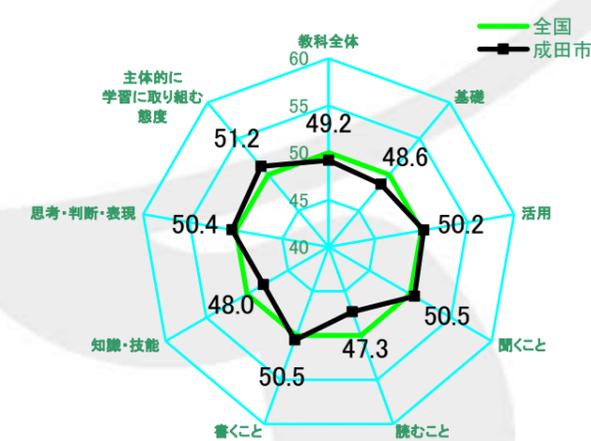
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
1(3)	産業の空洞化について理解している。〈日本の地域的特色と地域区分〉	26.3	34.3
5(2)	江戸時代の産業の発達について、複数の資料をもとに考察し、表現している。〈江戸時代〉	7.7	12.0

【社会・力を入れた学習】

地理的分野については、各地方の地形や人口分布、気候、産業を関連させて特徴を理解しましょう。歴史的分野については、歴史的人物、出来事、その影響について資料を活用しながら自分の力でまとめてみましょう。

(5) 英語 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
1(3)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(テレビ番組の予定) 〈リスニング(内容理解)〉	77.4	69.6
5	英文を聞き、その要点を捉えて、自分の考えを英語で答えている。〈リスニング(対話の応答)〉	40.3	29.4

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
6(1)④	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(助動詞 must の否定文) 〈語形・語法の知識・理解〉	38.4	55.1
7(3)①	対話を読み、対話の流れと資料から、適切な内容を選んでいく。〈さまざまな英文の読み取り〉	22.4	38.2

【英語・力を入れた学習】

英語の文章を読む際は、おおまかな文章の内容や要点をつかむよう気を付けて読みましょう。自分で文章に題名をつけることで、文章の要旨や要点を捉える工夫となります。また、音読をすることで、内容理解とともに発音やアクセント、語順などの感覚を養うことができます。